

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
英語 1A (Reading1) P	阿部 聡			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年		

授業目的

様々なタイプの英文を読みながら、段階的に大学生にふさわしい英語読解力を高めていくことを目的とします。可能な限り正確に読むことを心掛けながら、読解のスピードも徐々に上げていくようにします。また、知っているはずの単語の意味や用法の再確認も行います。補助的にリスニングのトレーニングも行います。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 イントロダクション Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【復習 60分】 15回の授業全体でどのような力を養成するのかを理解する。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第2回 【授】 Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第3回 【授】 Unit 2 Foods 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第4回 【授】 Unit 2 Foods 小テスト 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第5回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第6回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第7回 【授】 Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第8回 【授】 中間テスト Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 40分・復習 20分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p>	<p>第9回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第10回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第11回 【授】 Unit 6 Living Things 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第12回 【授】 VELCテスト 【前・後】 【予習 60分】 事前にテキストを通読し、リーディングスキル、リスニングスキルの復習につとめる。</p> <p>第13回 【授】 Unit 6 Living Things Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第14回 【授】 Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第15回 【授】 定期試験 【前・後】 【予習 40分・復習 20分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p> <p>第16回</p>
---	---

成績評価方法

定期試験=25%、小テスト・レポート=40%
 その他=中間試験 25%+VELC テスト 10%
 点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELC テストの結果は成績に 10%反映させ、また後期の VELC テストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。
 小テスト、ワークシートは採点し講評を加えて返却する。

教科書・参考書

VELC 研究会教材開発グループ (2018) AMBITIONS Pre-Intermediate 4 技能統合型で学ぶ英語コース：初中級編，金星堂。
 参考書として辞書（紙、電子辞書、電子辞書のコンテンツに相当する（品質が高く使いやすい）スマートフォンもしくはPCの辞書アプリ；ただし、試験の際に辞書持ち込み可とする場合には不正防止のため通信機能を持たない辞書に限って持ち込み可とする可能性あり）

受講に当たったの留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。授業中に PC を用いる機会もあります。忘れずに持ってくる。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

英語の読解力向上を目指す授業なので出来るだけ多くの英語を読んでいきます。辞書の助けを借りながら英語を読める基礎力の修養を本授業の学習到達目標とします。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	
英語 1A (Reading1) Q	市橋 孝道			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年	
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年			
授業目的								
<p>様々なタイプの英文を読みながら、段階的に大学生にふさわしい英語読解力を高めていくことを目的とします。可能な限り正確に読むことを心掛けながら、読解のスピードも徐々に上げていくようにします。また、知っているはずの単語の意味や用法の再確認も行います。補助的にリスニングのトレーニングも行います。</p>								
各回の授業内容								
<p>第1回 【授】 イントロダクション Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【復習 60分】 15回の授業全体でどのような力を養成するのかを理解する。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第2回 【授】 Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第3回 【授】 Unit 2 Foods 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第4回 【授】 Unit 2 Foods 小テスト 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第5回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第6回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第7回 【授】 Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第8回 【授】 中間テスト Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 40分・復習 20分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p>				<p>第9回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第10回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第11回 【授】 Unit 6 Living Things 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第12回 【授】 Unit 6 Living Things 小テスト 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第13回 【授】 Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第14回 【授】 Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第15回 【授】 Unit 1-7のまとめ 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第16回 【授】 定期試験 【前・後】 【予習 40分・復習 20分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p>				
成績評価方法								
<p>【成績評価】 定期試験=25%、小テスト・課題=40% その他=中間試験 25%+VELC テスト 10% 点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELC テストの結果は成績に10%反映させ、また後期の VELC テストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。小テスト、ワークシートは採点し講評を加えて返却する。</p>								
教科書・参考書								
<p>VELC 研究会教材開発グループ (2018) AMBITIONS Pre-Intermediate 4 技能統合型で学が英語コース：初中級編、金星堂。 参考書として英和辞典（紙媒体、電子辞書、両方可）；ただし、試験の際に辞書持ち込み可とする場合には不正防止のため通信機能を持たない辞書に限って持ち込み可とする</p>								
受講に当たっての留意事項								
<p>言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。忘れずに持ってくる。</p>								
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施	○
×								
学習到達目標								
<p>英語の読解力向上を目指す授業なので出来るだけ多くの英語を読んでいきます。辞書の助けを借りながら英語を読める基礎力の修養を本授業の学習到達目標とします。</p>								
JABEE								
<p>関連する学習・教育到達目標：B</p>								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
英語 1A (Reading1) R1	茅野 潤一郎			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年		

授業目的

様々なタイプの英文を読みながら、段階的に大学生にふさわしい英語読解力を高めていくことを目的とします。可能な限り正確に読むことを心掛けながら、読解のスピードも徐々に上げていくようにします。また、既習の単語の意味や用法の再確認も行います。授業内容に応じて、講義形式、ペア活動、グループワークの形態を取ります。

各回の授業内容

第1回 【授】 Introduction Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【復習 60分】 15回の授業全体でどのような力を養成するのかを理解する。授業後その箇所の理解に努める。	第9回 【授】 Mid-examination Unit 5 Fashion(導入) 【前・後】 【予習 90分】 試験準備
第2回 【授】 Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第10回 【授】 小テスト Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第3回 【授】 Unit 2 Foods 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第11回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第4回 【授】 Unit 2 Foods 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第12回 【授】 小テスト Unit 6 Living Things 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第5回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 小テスト1 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第13回 【授】 Unit 6 Living Things Unit 7 Art 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第6回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第14回 【授】 小テスト Unit 7 Art 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第7回 【授】 Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第15回 【授】 (ライティング課題) 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。
第8回 【授】 Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 60分・復習 60分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。	第16回 【授】 Final Examination 【前・後】 【予習 120分】 試験準備

成績評価方法

60% Exams = 中間試験+期末試験
 15% Vocabulary Quizzes
 15% In-class activity/attitude
 10% VELC Test
 ・小テスト、中間テストについては授業にて解説をします。期末テストについてはポータル上でコメントします。
 ・VELC テストの結果を成績の10%に含みます。また後期のVELC テストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。

教科書・参考書

VELC 研究会教材開発グループ (2018) Ambitions Pre-Intermediate 4 技能統合型で学ぶ英語コース：初中級編，金星堂。

受講に当たっての留意事項

・英和辞典を必ず持参すること。持参しない場合は、授業に参加する意欲がないものとして扱われます。
 ・出欠については厳格に扱います。教員による出欠確認後の入室は出席扱いにはなりませんので注意してください（特別な事情による遅刻についてはもちろんこの限りではありませんので申し出てください。）

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

様々なタイプの英文を正確に読み取ることができる。
 正確に読むことを心掛けながらも、より速く読解できるようになる。
 語彙を増やすことができる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
英語 1A (Reading1) R2	阿部 聡			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年		

授業目的

様々なタイプの英文を読みながら、段階的に大学生にふさわしい英語読解力を高めていくことを目的とします。可能な限り正確に読むことを心掛けながら、読解のスピードも徐々に上げていくようにします。また、知っているはずの単語の意味や用法の再確認も行います。補助的にリスニングのトレーニングも行います。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 イントロダクション Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【復習 60分】 15回の授業全体でどのような力を養成するのかを理解する。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第2回 【授】 Unit 1 Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第3回 【授】 Unit 2 Foods 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第4回 【授】 Unit 2 Foods 小テスト 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第5回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第6回 【授】 Unit 3 Foreign Language Learning 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第7回 【授】 Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第8回 【授】 中間テスト Unit 4 Sports 【前・後】 【予習 40分・復習 20分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p>	<p>第9回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第10回 【授】 Unit 5 Fashion 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第11回 【授】 Unit 6 Living Things 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第12回 【授】 Unit 6 Living Things 小テスト 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第13回 【授】 Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第14回 【授】 Unit 7 Art 【前・後】 【予習 30分・復習 30分】 事前に本文を読み、理解不明箇所の確認。授業後その箇所の理解に努める。</p> <p>第15回 【授】 定期試験 【前・後】 【予習 50分・復習 10分】 事前に試験範囲の熟読。試験後理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p> <p>第16回</p>
---	--

成績評価方法

定期試験=25%、小テスト・レポート=40%
 その他=中間試験 25%+VELC テスト 10%
 点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。VELC テストの結果は成績に 10%反映させ、また後期の VELC テストの結果とともに次年度のクラス分けの資料とします。
 小テスト、ワークシートは採点し講評を加えて返却する。

教科書・参考書

VELC 研究会教材開発グループ (2018) AMBITIONS Elementary 4 技能統合型で学ぶ英語コース：初級編、金星堂。
 参考書として辞書（紙、電子辞書、電子辞書のコンテンツに相当する（品質が高く使いやすい）スマートフォンもしくはPCの辞書アプリ；ただし、試験の際に辞書持ち込み可とする場合には不正防止のため通信機能を持たない辞書に限って持ち込み可とする可能性あり）

受講に当たっての留意事項

言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業は演習形式で行うので十分な予習が必要です。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので十分注意して下さい。辞書を毎回持ってくる。また、ロッカーなどにテキストや辞書を入れたままにすることのないように。授業中に PC を用いる機会もあります。忘れずに持ってくる。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

英語の読解力向上を目指す授業なので出来るだけ多くの英語を読んでいきます。辞書の助けを借りながらひとりで英文を読める基礎力の修養を本授業の学習到達目標とします。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
英語 1A (Reading1) R3	辻 照彦			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年		

授業目的

大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、大学生にふさわしい読解力を修得する。国際理解とコミュニケーションに必要な英語力を身につける。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 ガイダンス & Unit 1: Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第2回 【授】 Unit 1: Cross-Cultural Understanding 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第3回 【授】 Unit 2: Foods 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第4回 【授】 Unit 2: Foods 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第5回 【授】 Unit 3: Foreign Language Learning 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第6回 【授】 Unit 3: Foreign Language Learning 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第7回 【授】 Unit 4: Sports 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第8回 【授】 まとめと中間テスト & Unit 4: Sports 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p>	<p>第9回 【授】 Unit 5: Fashion 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第10回 【授】 Unit 5: Fashion 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第11回 【授】 Unit 6: Living Things 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第12回 【授】 VELC Test 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第13回 【授】 Unit 6: Living Things 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第14回 【授】 Unit 7: Art 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第15回 【授】 Unit 7: Art 【前・後】 【予習・復習に1時間ずつ】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p>第16回 【授】 学期末試験</p>
---	--

成績評価方法

【成績評価】定期試験 50%、小テスト・課題等 25%、授業への参加 15%、VELC テストの結果 10%を合わせて総合的に評価する。
【フィードバック】テストやレポートを返却し講評を加える。なお、15回の授業のうち1回分を課題で代替する。詳細については授業時間内に説明する。

教科書・参考書

VELC 研究会教材開発グループ、Ambitions: Elementary (金星堂)

受講に当たっての留意事項

無断欠席・遅刻は絶対にしないこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		×

学習到達目標

平明な英語で書かれた文書を正確に読むことができる。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
130111	X-11/31-A-1-130111	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
英語 1A (Reading1) R4	高橋 康浩			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	必修	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	必修	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	必修	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	必修	1年		

授業目的

標準的な難易度のテキストを読みながら英語の文章に慣れていくようにする。これまでの英語学習も踏まえながら、英語の感覚に慣れていくことによって、英語のサイトを頻繁に検索できるようにする。そのことが日本語のみに限定されない情報収集能力を高めることになる。英語を通じて、国際社会の一員であることを強く自覚できるようにする。キーワード PBL

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 授業のガイダンス、学習方法の説明。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。予習と復習に2～3時間くらいかけること。これは以下すべての回の授業にも該当するので心がけること。</p> <p>第2回 【授】 unit 1 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第3回 【授】 unit 2 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第4回 【授】 unit 3 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第5回 【授】 unit 4 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第6回 【授】 unit 5 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第7回 【授】 unit 6 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第8回 【授】 中間テスト 【前・後】 試験勉強は普段の予習・復習をしていれば2時間ほどで済むと思われる。それが十分でないのなら3～4時間ちかくかけるべき。</p>	<p>第9回 【授】 unit 7 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第10回 【授】 unit 8 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第11回 【授】 unit 9 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第12回 【授】 unit 10 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第13回 【授】 unit 11 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第14回 【授】 unit 12 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第15回 【授】 unit 13 の学習 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第16回 【授】 期末試験 【前・後】 これも中間試験と同じような対策が必要となる。</p>
--	---

成績評価方法

試験の直前は対策を行うが、ポータルや掲示にて試験の最優秀答案を公表し、全体の評価も行いたい。定期試験 60 パーセント、小テスト 20 パーセント、授業態度・参加 20 パーセントで評価する。

教科書・参考書

静哲人、望月正道他、AMBITIONS: Elementary (金星堂)

受講に当たっての留意事項

授業には必ず辞書を持ってくる。わからない単語はすぐに調べるようにする。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表 等)の実施
×		○

学習到達目標

授業計画をできるだけ完遂するようにする。できれば教科書を最後までやり遂げたい。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：B

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習